

令和7年度有田市立箕島小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情をはぐむ

保護者・地域の願い

- 学力を身につけた子に
- 命を大切に、安全に過ごす子に
- 元気な挨拶ができ思いやりのある子に
- ふるさとを愛する子に

【学 校 教 育 目 標】

学び合う学校

【めざす児童像】

- ・よく考える子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・きたえる子ども

前年度の学校評価

- 全体的には、学校の取組に良好な評価であり、今後も継続的な取組を求められている。
- 取組に対する特徴的な評価
 - ・「学校が楽しい」と感じる児童が多い学校づくりに引き続き努力して欲しい。
 - ・読書活動の充実にも今後も努めて欲しい。
 - ・認め合う・認め合える学級づくりに引き続き努めて欲しい。
 - ・保護者等への情報発信をしっかりと努めて欲しい。

児童（生徒）の実態

- 挨拶ができ、真面目に取り組むことができる。
- 学力調査は全体的に良好だが二極化が見られる。
- 良いと思うことを積極的に行う児童が増えてきている。
- 学校生活は楽しいと感じている児童が多い。
- 体力調査では、種目により課題が見られる。

重点目標

「よく考える子ども」

- ◎基礎学力の定着と授業改善
- 金融経済教育の推進
- 読書活動の推進
- 家庭学習の定着

「思いやりのある子ども」

- ◎互いの良さを認め合い思いやりのある集団づくり
- いじめのない人間関係の構築
- 道徳教育の推進

「きたえる子ども」

- ◎体力の向上
- 基本的生活習慣の確立
- 防災・安全教育の充実

学校運営

- ◎家庭や地域、保幼小中との連携
- 学校運営協議会を核とした取組
- 校務の効率化

具体的な取組

- ・「箕島小の学習スタイル」を徹底するとともに、授業方法の工夫改善を図る。
- ・補充学習を実施し、基礎学力の定着を図る。
- ・タブレット等を積極的に活用し、個別最適な学びを進める。
- ・発達段階に応じた金融経済教育の研究を進める。
- ・学校司書と連携し、授業での読書活動の工夫を図る。
- ・宿題等を精選し、家庭学習を充実する。

- ・子どもの主体的な取組を通じて、自己肯定感を高める。
- ・Q Uを活用した人間関係作り、学級作りを行う。
- ・いじめアンケート等を活用し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- ・個に応じた特別支援教育を進める。
- ・不登校児童の早期発見とケース会議等を活用した早期対応に努める。
- ・道徳授業の工夫改善を進める。

- ・体力向上に向け、課題を把握し、その課題を授業の準備運動等に取り入れる。
- ・生活アンケートを計画的に実施し、基本的生活習慣の定着を推進する。
- ・避難訓練等の訓練を目的を明確に実施し、児童の危機管理能力をつける。

- ・学校運営協議会を核とし、地域との連携を強め、地域の教育資源を有効に活用する。
- ・各種便りやHPで積極的な情報の発信をする。
- ・保幼小中が連携して情報を交流し、行事等で積極的な交流を行う。
- ・職員会議は、会議計画を作成することで精選を図っていく。

指標

- ・国語・算数のテストで基礎・基本を80%以上の到達度にする。
- ・年35時間以上の補充学習を行う。
- ・児童の学び合いアンケートの全項目100%
- ・各学年で単元を通じて金融経済学習を行う。
- ・学年に応じた家庭学習時間に取り組む児童が85%以上。
- ・授業で図書室や市立図書館を学期に1回以上活用。

- ・学校が楽しいと感じる児童が95%以上。
- ・児童の自主性を育てた教職員が100%。
- ・学校がいじめのない人間関係づくりに努めていると感じる保護者が90%以上。
- ・道徳授業公開を各学級1回以上行う。

- ・体力テストD、Eを男子15%以下、女子10%以下。
- ・早寝・早起き・朝ごはんの習慣に取り組めた児童が90%以上。
- ・安全・安心な学校づくりに努めていると感じる保護者が95%以上。
- ・各種訓練の実施率が100%。

- ・各学年で地域資源を活用した授業や活動を学期に1回以上は行う。
- ・学校の情報を伝えていると感じる保護者95%以上。
- ・地域と連携した教育活動を行っていると感じる保護者が95%以上。
- ・ノー残業デーの実施を10回以上。

◎・・・特に重点的に取り組むこと